



高木さんのホウレン草



農業歴49年のベテラン農家の高木さん。シルクスweet、小松菜、ターサイも作っています。



ハウスでは秋の長雨も避けられ立派に育ちました。



右側が早めに蒔いたホウレン草。この出荷が終わる頃、左側の生育が追いつき出荷適期を迎えます。

★例年通り作ること、作れること

今年は長梅雨でしたが、8月の猛暑を挟んで9月半ばからまた雨続きです。畑がぐちゃぐちゃで、種蒔きなど「このタイミングで」といった仕事がずれ込むので農家はみんな苦労しています。また初期生育時に湿害を受けてダメになるところが出てきたり。農業歴49年の高木さんも「この雨はしょうがないよ。晴れて風も吹いて乾かないとやりようが無いよ」と困り顔です。

しかし、ハウスにも作付けをしている高木さんのホウレン草は順調に出荷が始まりました。露地より少し早く出せる事と雨が避けられるので管理がしやすいのです。昨年は大型台風の直撃を受けましたが、今年は直撃は無く出荷が出来てホッとしています。

高木さんの作り方は何十年も前から変わっていません。「ずっとやっているからね。いつもの通りだよ」。7月中旬に自家製堆肥と有機質肥料を入れ、太陽熱養生処理を行う事で土を整えます。そして9月10日頃から10月頭まで何回かに分けて種を蒔く事で継続して出荷が出来るようにします。周りのメンバーも「あそこの土地の土はいいぞ」と言う地域で、おかげさま農場が出来てからずっと作ってきたホウレン草。何十年も取り続けてきたノートを片手に、同じように作る事。逆に言えば何十年も同じように作れる事。新規就農者や新しい畑では出来ないことです。「長年の土作り」+「長年の経験」に優る野菜作りは無い、という事を高木さんが証明しています。

- ・ホウレン草は最初はハウス物ですが、1週間ほどで露地物に切り替わる予定です。

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎もう1人のホウレン草生産者の畑が長雨などによる被害が出ているため、大口出荷が安定するのは11月半ば頃になります。また、人参は11月2週目後半からの出荷予定です。